

がんプロ 6/12(日)9:00-12:15 (受付開始 8:30)

薬学がんプロフェッショナル研修会(「がん薬物療法における薬・薬連携—病院の取組」／「薬局薬剤師ががん患者にできること～薬薬連携の必要性～」／「がんになっても幸せを感じられる社会へ～24歳でがんを経験して」)

講座情報

「がん薬物療法における薬・薬連携—病院の取組」

がん領域の治療の大半を占める薬物療法の施行には、十分な有効性に対する根拠の担保と安全性の付託が必要とされる。また、患者への薬物療法の有効性・副作用の説明が必要とされるがん領域では、診断から治療、再発・転移への不安、緩和医療移行への決断など、精神的に追い詰められているケースが少なくないため、その中でがん専門薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師・緩和薬物療法認定薬剤師・外来化学療法認定薬剤師は、治療戦略への介入のみならず、常に患者サイドに立って、抗がん剤の副作用軽減や精神的ケアのサポート、緩和医療へのサポートも行っていくことが必要である。今回は本テーマについて、いかに連携すべきかを考える。

「薬局薬剤師ががん患者にできること～薬薬連携の必要性～」

近年、経口抗がん剤の処方箋は、院外処方せんとして多くの医療機関が発行しており保険薬局に持ち込まれることも増えている。その中には、注射剤と経口抗がん剤の併用療法として、注射剤を病院で受け、経口抗がん剤を院外薬局でもらう例もある。

また病院で抗がん剤治療を受けた患者の処方箋には支持療法として制吐剤や下痢止めなどの消化器症状改善薬、抗アレルギー薬、抗生剤等のみが処方されることもある。眼科や整形外科、皮膚科の処方箋を持参する患者の中にもがん患者はいる。

こういった状況の中で保険薬局薬剤師としてがん患者をサポートするためには何をすべきかを考えた。大学病院の近隣薬局に勤務していた時に、病院薬剤師と連携することでがん患者へより良いサポートが行えることが分かった。その後、地域に密着した薬局に勤務し、かかりつけ薬局の薬剤師としてがん患者とかかわることになった。そこでも病院薬剤部へ直接患者情報を確認することは重要であり、薬薬連携の必要性を一層感じるようになった。

今回は、実際の経験を基に、私自身が感じていることをお話ししたいと思う。

「がんになっても幸せを感じられる社会へ～24歳でがんを経験して」

ママチャリで日本縦断してしまうほど健康そのものだった学生時代を経て、テレビ局に入社。そんな私が24歳の春、右胸にしこりを見つけ、乳がんと診断されました。仕事もプライベートも充実していた日々が突然分断され、なによりもつらかったのは、当たり前にくると思っていた未来が一切思い描けなくなったこと。闘病中は不幸のどん底気分でも度も死ぬことを思い、もがき苦しみました。

そんな中で生きる原動力となったあるひとつの思い。「もし元気になれる日がきたら、がんになっても幸せを感じられる社会をつくりたい—」

それから8年の月日が流れ、あの時の思いを私なりに具現化すべく、記者として、NPO法人の共同代表として、日々奔走しています。闘病していたときのこと、そして今何を思い、どんなことに取り組んでいるのか、お話ししたいと思います。

講演者情報

「がん薬物療法における薬・薬連携－病院の取組」

伊東 俊雅

東京女子医科大学東医療センター薬剤部 薬剤師長

プロフィール

【学歴】 平成 6 年 昭和薬科大学薬学部生物薬学科卒業

平成 8 年 昭和薬科大学大学院薬学研究科薬化学専攻修士課程修了
修士(薬学)学位取得(薬化学分野)

【職歴】 平成 6 年 昭和薬科大学卒業、薬剤師免許取得

平成 8 年 昭和薬科大学大学院薬学修士前期課程修了、北里大学病院薬剤部入局

平成 17 年 東京女子医科大学病院薬剤部入局

平成 22 年 東京女子医科大学病院 薬剤部薬剤副師長・緩和ケアチーム・在宅療養薬剤師兼務

平成 27 年 東京女子医科大学東医療センター薬剤部 薬剤副師長

平成 28 年 4 月現在

東京女子医科大学東医療センター薬剤部 薬剤師長・薬剤部長代行

東京女子医科大学東医療センター医療安全管理部 医薬品安全管理責任者

東京女子医科大学東医療センターがん包括診療部統括薬剤師

東京女子医科大学看護学部大学院講師(がん看護専門課程)

昭和薬科大学薬学部非常勤講師(臨床薬学)

神奈川保健福祉大学看護実践教育センター非常勤講師(がん看護認定課程、感染制御、集中治療)

【専門領域】

がん・緩和医療薬学 天然物薬化学 和漢医薬学

【認定】

がん薬物療法認定薬剤師

緩和薬物療法認定薬剤師

日本救急医学会 ICLS 認定

【所属学会】

日本緩和医療薬学会評議員

日本在宅薬学会評議員

東京都病院薬剤師会緩和専門薬剤師特別養成委員会委員長

がん疼痛・症状緩和に関する他施設共同臨床研究会(SCORE-G)メンバー薬剤師

日本臨床腫瘍学会会員、日本臨床腫瘍薬学会、日本薬学会会員、日本医療薬学会会員、日本緩和医療薬学会会員、

日本緩和医療学会会員、日本和漢医薬学会会員、日本病院薬剤師会会員、日本薬剤師会会員、東京都病院薬剤師会
会員、東京都薬剤師会会員

【免許・資格等】

平成 6 年 薬剤師免許取得

主要著書

第 7 版 錠剤・カプセル剤の粉碎可否マニュアル 2015

改訂新版 薬局で買える薬がよくわかる本 2011

薬局で買える女性の薬がよくわかる本 2008

薬局で買える子どもの薬がよくわかる本 2007

「薬局薬剤師ががん患者にできること～薬薬連携の必要性～」

長久保久仁子

ミキ薬局日暮里店 店長

プロフィール

【学歴】 1994 年 昭和薬科大学 薬学部 卒業

【職歴】 1994 年 株式会社メディカルファーマーシー入社 ミキ調剤薬局勤務

2002 年 ミキ薬局第二女子医大通り店 店長(管理薬剤師)

2006 年 ミキ薬局若松町店 店長(管理薬剤師) 第一ブロック長兼務

2013 年 ミキ薬局日暮里店 店長(管理薬剤師) 人材開発担当副部長兼務

現在に至る

【認定】

研修認定薬剤師(日本薬剤師研修センター認定)

認定実務実習指導薬剤師(日本薬剤師研修センター認定)

外来がん治療認定薬剤師(日本臨床腫瘍薬学会認定)

【所属学会】

日本薬剤師会

日本薬局学会

日本緩和医療薬学会

日本臨床腫瘍薬学会

日本在宅薬学会

【免許・資格等】

薬剤師免許(第 296678 号)

「がんになっても幸せを感じられる社会へ～24 歳でがんを経験して」

鈴木 美穂

NPO 法人マギーズ東京 共同代表理事

プロフィール

【学歴】 2006 年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業

【職歴】 2006 年～現在 日本テレビ報道局

2015 年～現在 NPO 法人マギーズ東京共同代表理事

主要著書(著書ではなく、テレビ番組のドキュメンタリー番組です。)

2010 年 リアルワールド「伝えたい…24 歳のわたしへ～がんが教えてくれたこと」

2015 年 NEWS ZERO 特番「Cancer gift がんって、不幸ですか？」等

参考サイト

NPO法人マギーズ東京 HP <http://maggiestokyo.org/>

私の個人ブログ <http://suzukimiho.hatenablog.com/>

若年性がん患者団体 STAND UP！！ <http://standupdreams.com/>